

令和4年度 青果物販売情勢について

令和4年4月20日（水）現在

【 野 菜 】

<きゅうり>

気温上昇に伴い、各産地の入荷が回復し、東北産促成作も増量が見込まれる。また、関東産無加温作も連休にかけてピークとなる可能性もあり、相場を下げながら売価誘導を図る見通し。

@A 1,500円～

<いちご>

売場縮小で店舗からの引合いが弱いため荷動きは良くないが、各産地共に入荷量は多くないことと相場を下げたこともあり、保合展開となっている。

@2L・L 300円～

<えんどう類>

○さやえんどう

徳島県産の入荷量が多いまま推移する見込みから、流通在庫の増加が懸念され、相場は弱保合で荷動きを止めないための販売となる見通し。

@A 1,500円～（ハウス）

○スナップえんどう

鹿児島県産のさらなる減少を見込むが、福島県産ハウス作の出荷ピークに備えて引き合いを維持するために相場は保合となる見通し。

@A 1,100円～（ハウス）

<アスパラガス>

栃木県産の回復と福島県産促成作がピークを迎えることから入荷量は増量となるが、売り場で福島県産へ産地切り替えが進むことで引き合いが強まるため、相場は保合となる見通し。

@AL 160円～